

昭和 57 年度

# 秋田県環境技術センター年報

第 10 号

秋田県環境技術センター



## は し が き

10年は一つの節目といわれております。環境技術センター（旧公害技術センター）年報も第10号を数えることとなりました。

いまふり返って過去の業績をみると感新たなものが湧いて参ります。一年間の業務の概要、研究報文を主として掲載しておりますが、中には数年間に亘って研究のうえとりまとめられたもの、或いは研究継続中のもの等一般業務のかたわらこれ等を取りまとめる作業には苦勞の多いこともあったろうと、先輩の業績に対し、頭の下る思いが致します。

昭和57年は北国独得のスパイクタイヤ粉塵問題或いは酸性雨実態調査等に新たにとり組みました。また、河川汚濁の大きな問題とされております生活雑排水の改善対策に着手致しました。

県民の健康に対するニーズは単に公害の防止のみではなく人々の心にゆとりや、うるおいを与える健康で快適な生活環境を求めていることから公害防止研究はもとより将来に向けての対策を求めて研究に励まなければならないものと思います。

このたび昭和57年度年報第10号を皆様にお届けすることとなりましたので、ご高覧のうえご批判、ご指導を賜れば幸いと存じます。

昭和 58 年 12 月

秋田県環境技術センター

所 長 園 部 孝 雄